

時代をこえる水浜電車



水戸市立新荘小学校

4年1組 細谷 武玄

目次

1. 研究動機

2. 研究のすめ方

3. 研究したこと

(1) 水浜電車の歴史

(2) 通っていた(は)い、停車馬尺

(3) 当時の様子をインタビュー

① 曾祖父へのインタビュー

② 曾祖母へのインタビュー

(4) 現在の様子

① (ま)くの身近な場所での水浜電車のあと

② 今と昔の町の様子

4. まとめ

1. 研究動機

ぼくは、電車が好きです。それを知、ている親せきから、東京の昔の路面電車の写真をもらいました。路面電車もですが、写真に映っている昔の人や町なみにもきょう味をもちました。

ちょうどその時に、たまたま郵便局で水浜電車開通100周年の記念切手を見つけました。それで水戸にも路面電車がはしていたことを知りました。どこを走っていたのか、どんな電車だったのか詳しく調べたくなりました。

今回の研究をする話を昔から水戸に住んでいるひいおじいさんに話すと、「昔乗っていたよ」と言っていました。当時水戸でくらしていた人の声をきけたらと思いインタビューすることにしました。

2. 研究のすすめ方

- ・本・インターネットで調べる。
- ・ひいおじいさんにインタビューをする。
- ・当時電車がはっていた場所に実さいにいってみる。

3. 研究したこと

(1) 水浜電車の歴史

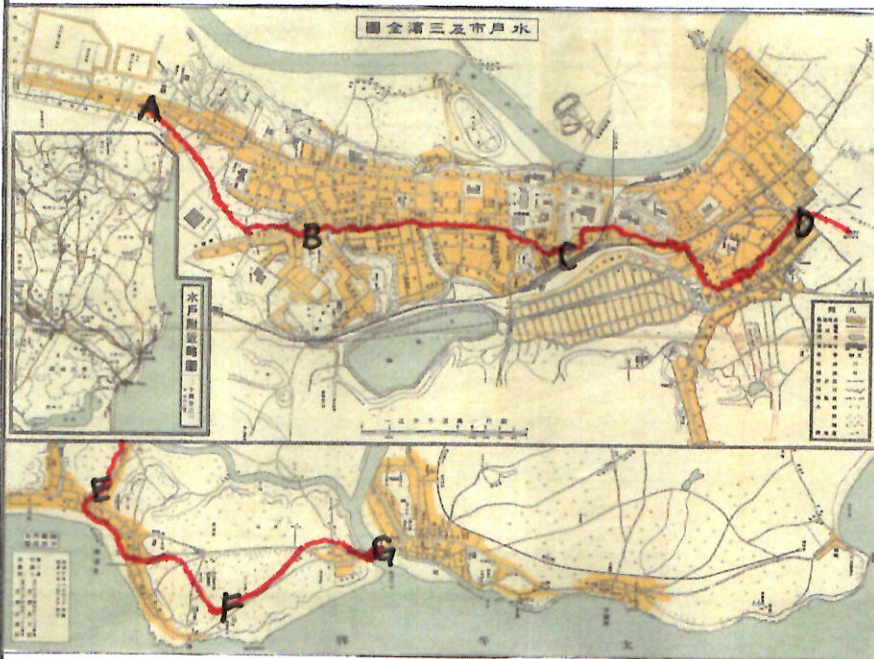
年	主な出来事	年	主な出来事
1922	12月 浜田～石幾浜間開業。	1945	大洗～海門 網が企業整備のため廃止。
1924	浜田～南町三丁目間開通。水戸駅と連絡。	6月	上水戸～南袴塚間開通。
1927	磯浜～海門橋間開通。		袴塚～南袴塚間廃止。
1928	南町三丁目から袴塚まで開通。	8月	水戸大空襲により復旧に10か月かかる。
1930	11月 海門橋～湊間開通。	1966	水浜線 上水戸～東光台間廃止。
1938	台風により海門橋流失。海門橋～湊間廃止。		これにより、水浜線が廃止。
1944	水浜電車が茨城交通の水浜線になる。		

水戸の東にある那珂湊は漁業が盛んだった。1913年12月に那珂川左岸に月券田～那珂湊間の湊鉄道が開通し、那珂川右岸に磯浜から水戸へ直通する鉄道の建設をしてほしい声が高まった。

最初に通した磯浜～浜田間は水戸の下水だった。その後、上市への延伸工事が始まり、上市まで開通し、常磐線水戸駅にも連絡した。水浜電車の業績は好言で、夏の海水浴や那珂川の花火、偕楽園への輸送が盛んだった。水浜電車は電灯事業やバス事業も経営し、水戸周辺の交通もろを掌握した。

1944年、国策により茨城交通が誕生し、旧水浜電車は茨城交通水浜線となった。1945年8月に大空襲で水戸市は焼け野原となった。車両や変電所は無事だったが、復旧には10ヶ月も必要だった。戦後バスの活性化、単線で車両交換に時間がかかる理由から1966年全面廃止となった。

(2)通っていたはくい・停車駅



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|---|
| 馬口 | 泉町 | 南町 | 南町 | 南町 | 水戸 | 三高下 | 一高下 | 東柳町 | 本一丁目 | 本三丁目 | 本五丁目 | ノ浜田 | 六反田 | 栗崎 | 東前 | 塩ヶ崎 | 磯浜 | 大貫 | 曲松 | 仲光 | 東光台 | 大洗 | 祝町 | 願入寺 | 海門橋 | 湊 |
| 上水戸 | 砂久保 | 公園 | 大工 | 三丁目 | 四丁目 | 三丁目 | 二丁目 | 一丁目 | 本一丁目 | 本三丁目 | 本五丁目 | ノ浜田 | 六反田 | 栗崎 | 東前 | 塩ヶ崎 | 磯浜 | 大貫 | 曲松 | 仲光 | 東光台 | 大洗 | 祝町 | 願入寺 | 海門橋 | 湊 |
| A | B | | | | C | | | | | D | | | | | | | E | | | F | | | | | G | |

(3)当時の様子をインタビュー

ぼくは、電車かほっていた当時の水浜電車の様子を知りたかったので、インタビューを、曾祖父の細谷敬と曾祖母の細谷孝子にしました。

曾祖父は、水戸で1936年に生まれて水戸で育ち、学生で東京に出からずと水戸で働いていました。現在86才です。

曾祖母は、那珂湊で1936年に生まれて那珂湊で育ちました。現在87才です。

④曾祖父へのインタビュー

Q. どんな時に水浜電車をつかっていたか。

A 学校や部活、仕事や遊びに行く時につかっていた。

Q. 特に多くつかっていた区間(まどのあたり)でしたか。

A 上水戸から水戸馬尺前を多くつかっていました。

Q そのお代金はいくらぐらいでしたか。

A 今の200円ぐらいです。今は当時の20倍の金かかです。

Q 何両へん成でどんな色でしたか。

A 1両へん成で、茶色、ぼかたです。

Q バスなどはありましたか。

A なにもありませんでした。

Q 他に覚えていることはありますか。

A 昔は水浜線の車両が広島の路面電車を走ったことがあるそうです。

他には、毎週土日と祝日に泉町と大工町に全魚すくいや物売が出る夜店があったのに行きました。

Q 教えてくれてありがとうございます。



←インタビュー時の様子

②曾祖母へのインタビュー

Q どんな区間をどんな時につかっていたか。

A 地元の駅から水戸駅までは、常磐線と湊線をつかっていました。水戸についてからは水浜電車を水戸駅前から泉町までつかっていました。遊んだり、買い物をしていました。

Q 水浜電車の浜田から大宮先へ行くところはおはかやお寺が多いのはどうしてですか。

A 黄門様かその昔おはかを下市にうつしたからと聞いたことがあります。

Q ありがとうございます。

(4) 現在の様子

①ぼくの身近な場所での水浜電車のあと



←ぼくの先祖のおはかの近くで見つけました。
六反田あたりです。とても細い道でした。



→
ぼくの通っている新荘小学校の近くの公園にありました。今はなくなっています。町名です。昔の地図をみて、この町名をしりました。



この通りは砂久保公園前の通りです。
この通りを歩くと言売めるものでは3つ
のくいが見つけました。

草にかくれていたり、けずれていたりに
見つけるのは大変でした。

家の前やちゅうしゃ場のあきなど、面白
いところがありました。



1スライドに2枚

④今と昔の町の様子

〈水戸駅前〉



昭和36年



現在

ぼくは、富士ビル
をピントに写真をと
りました。

ぼくは、昔より今
の方が建物が多いな
と思いました。

〈常陽銀行前〉



どちらとも写真左側の建物が常陽銀行です。

ぼくは、昔は道がせまいなど思いました。昔より今の方が車が多いと思います。

昭和初期

現在

ます。

〈泉町〉



昔の写真の中央の建物が「十銭屋」。今の写真の木のかけが「十銭屋」です。

昔からのお店が今もこのことになっていることにびっくりしました。

昭和32年

現在

した。

4. 研究まとめ

ぼくは、水浜電車が家の近くを走っていたことを知ってびっくりしました。実際に家の近くの水浜電車が走っていた場所(砂久保周辺)を歩いてみて、今の大通りではなくて細い道を電車が通っていたことにおどろきました。昔の地図を見ると、このあたりは田んぼだらけです。今は、バスが走り回っていますか、もしも今水浜電車が走っていたら、例えばぼくは砂久保から水戸馬尺前までつかっていたらどうかなと考えました。

歴史を調べて、昔は今より那珂湊が栄えていたことを学びました。昔の水戸の地図を見て、今はない地名があったり、他にもいろいろの鉄道が走っていたことを学びました。鉄道が好きなので、昔は走っていた他の鉄道も調べたいと思いました。また、今と昔の写真を比べると今は昔よりビルやマンションが多いです。しか

し、今でも昔からある建物があるのはすごいと思いました。そして道路が今よりせまいと思いました。

ぼくは、この研究を通してあらためて曾祖父にインタビューできてよかったです。インタビューをお願いすると、曾祖父も調べて待っていてくれて、ぼくが質問すると喜んで答えてくれました。本にはのっていないことをしることができました。特に印象に残ったのが夜に夜店があったことです。今も休みの日に夜店かであらいいなとうらやましく思いました。この研究により、一糸者に話すことができて、曾祖父母との関係が深まってよかったです。

参考資料

・水戸市立図書館 デジタルアーカイブ

地図で見る明治～昭和初期の水戸市の変遷

「水戸市及び三浜全図」 昭和10年(1935年)

・昭和の路面電車 関東・甲信越系編 講談社

著:生方良彦

・写真アルバム 水戸・笠間の昭和 いき出版